

2024年3月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済は、個人消費・企業活動ともに弱さが見られ
雇用環境にも悪影響が及んでいる

内閣府の月例経済報告（2024年3月22日公表）において、「景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している」との判断が維持された。

以下では、「全国的情勢」、「和歌山県的情勢」を主要経済指標（主に2月の値）に基づき報告する。

全国的情勢

- ① 需要動向に関して、「個人消費」、「公共投資」、「住宅建設」の判断が維持される一方で、「設備投資」は「持ち直しの動きがみられる」との判断に引き上げられた。
- ② 企業活動に関して、「生産」、「倒産件数」、「企業収益」、「業況判断」の判断は、いずれも維持された。
- ③ 雇用情勢に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。
- ④ 物価に関しては、「国内企業物価」については、「横ばいとなっている」との判断が、「消費者物価」については、「緩やかに上昇している」との表現が維持された。
- ⑤ 世界経済に関しては、「一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直している」との判断が維持された。国・地域別については、インドにおいて「景気は回復している」との判断に引き上げられた。

和歌山県的情勢

① 個人消費面では、**百貨店・スーパー販売額（2月）**は、前年同月比0.0%増（横ばい）。ただし、うるう年で1日営業日数が多かったことを考えると、1日当たりの販売額の水準は前年を下回っている（前年水準を下回るのは3か月連続）。

新車販売台数（軽自動車〔乗用〕含む、2月）は、前年同月比19.4%減となり、3か月連続で前年を大きく下回った。一部の自動車メーカーにおける出荷停止の影響が広がっており、減少幅は1月の16.3%減を上回った。当メーカーの完成車生産は2月中旬に再開しており、今後は状況改善が予想される。

新設住宅着工戸数（2月）は、前年同月比45.8%減（4か月連続で前年を下回る）。2023年合計の着工戸数は前年比16.8%減と、大きく減少している。着工戸数が減少傾向にある要因としては、住宅価格の上昇が挙げられる。

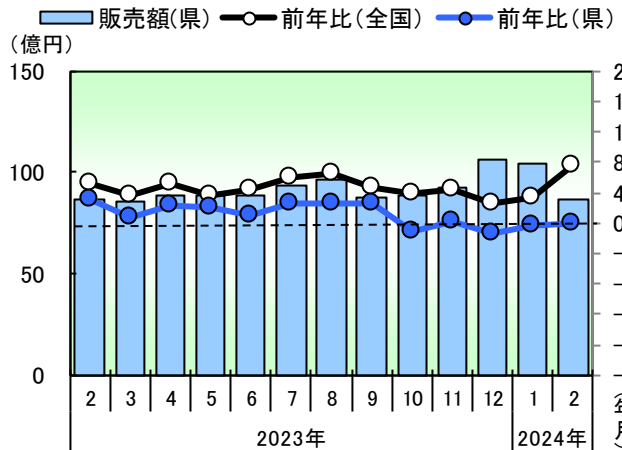
② 企業活動面では、**鉱工業生産指数（1月）**は76.4となっており、極めて低い水準での推移が続いている。ENEOS和歌山製油所が10月に操業を停止しており、化学工業、石油・石炭製品工業の生産指数が大幅に下降した。主力業種である鉄鋼業、機械工業についても生産稼働状況は低調で、県内製造業は総じて弱い動きとなっている。

公共工事請負金額（2月）は、前年同月比8.8%増となり、6か月連続で前年を上回った。前年4月～2月までの累計請負金額は、前年同期比6.7%増となっており、2021年以降続いていた請負金額の減少基調に変化が見られる。田辺地区・串本地区での請負金額が大きく増加している。すさみ町・串本町において、すさみ串本道路関連の大型工事が多数発注されている。

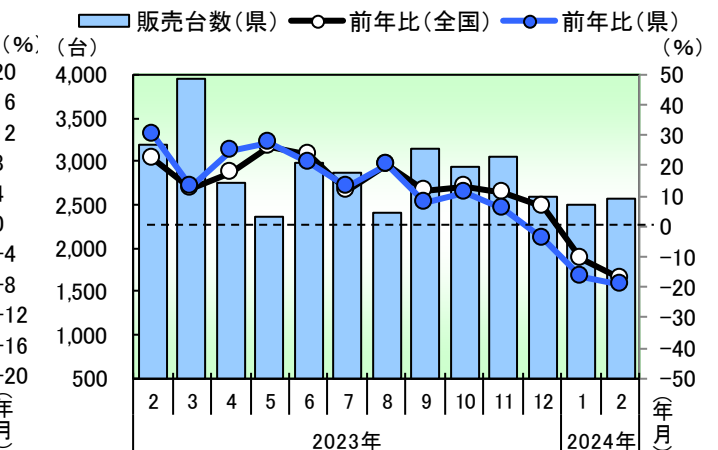
帝国データバンクが発表している「**県内 TDB 景気 DI (2月)**」は、前月から横ばいで推移した。大手企業の景気 DI が改善する一方で、中小企業、小規模企業の景気 DI は3か月連続で下降した。製造業の景気 DI も3か月連続で下降しており、2020年10月以来の低水準となっている。

③ 雇用面については、「**有効求人倍率 (2月)**」は、前月から0.04ポイント上昇し、1年前の水準(1.18倍)を回復した。有効求職者数が横ばいで推移する中、有効求人数が3か月連続で増加している(1年7か月ぶりに17,000人台を回復)。

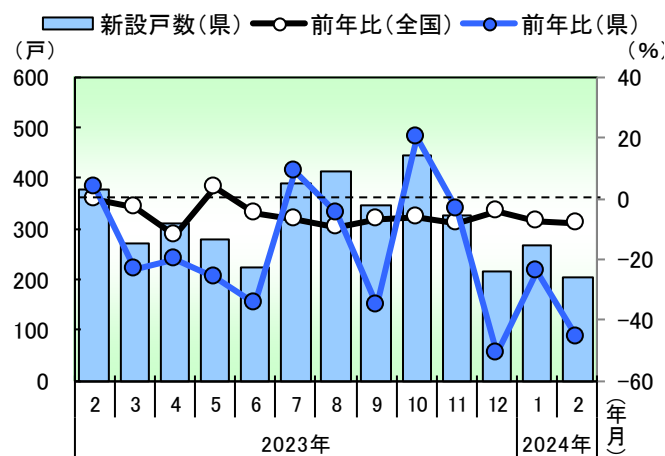
百貨店・スーパー販売額



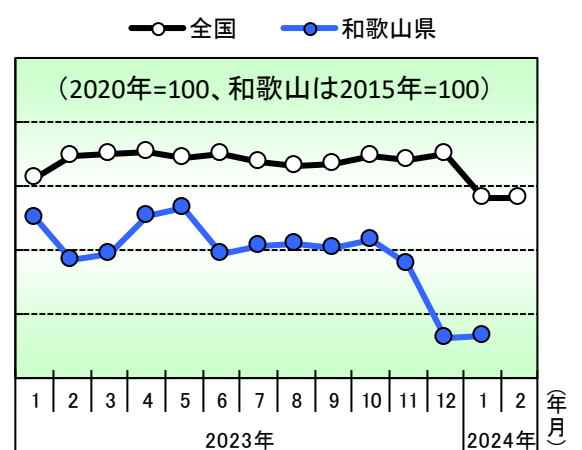
新車(登録車+軽自動車)販売台数



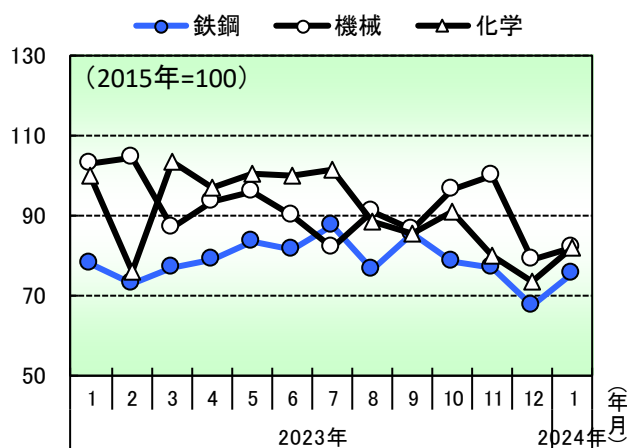
新設住宅着工戸数



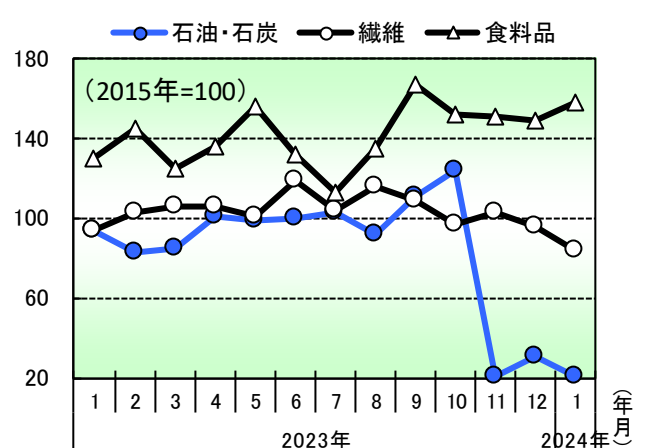
鉱工業生産指数



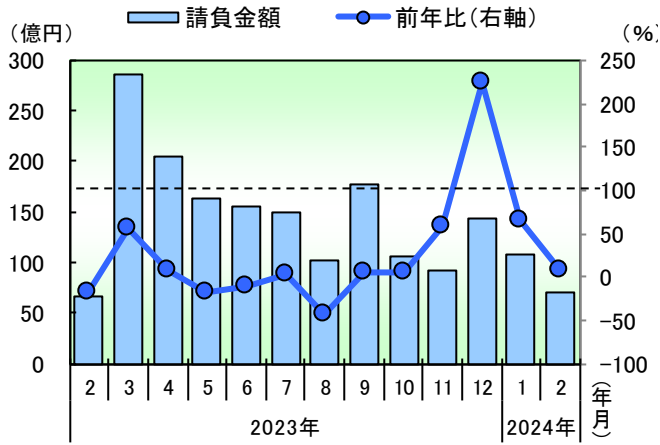
鉱工業生産指数(和歌山県)



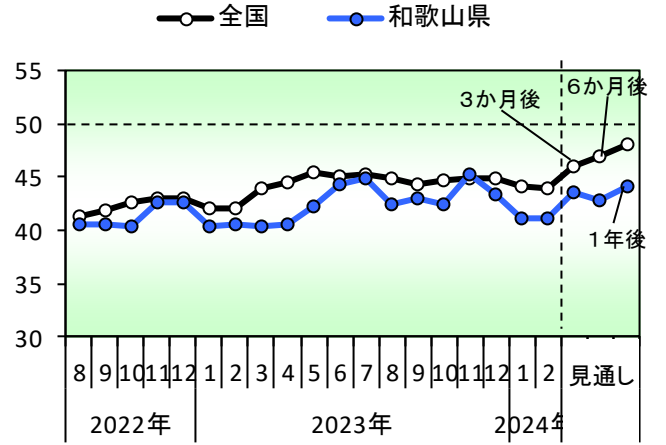
鉱工業生産指数(和歌山県)



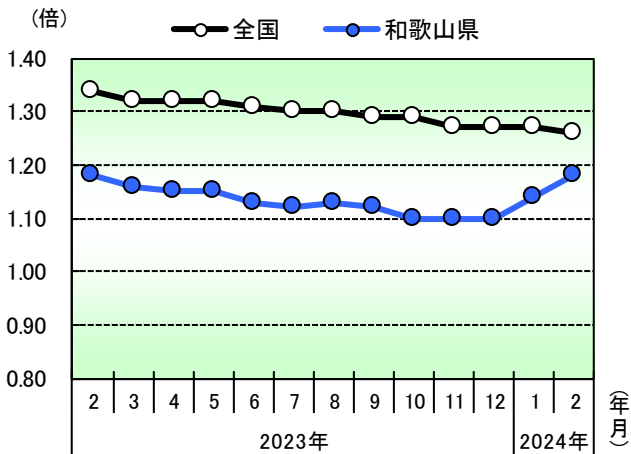
公共工事請負金額(和歌山県)



TDB景気DI(判断の分れ目は50)



有効求人倍率



(資料)株帝国データバンク

(1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2018年	1,211	0.0	-2.1	38,949	0.2	0.7	4,935	-2.3	8.7
2019年	1,188	-1.1	-1.9	38,733	-1.6	-0.6	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2023年1月	104.4	5.5	3.8	2,999	16.6	22.3	354	6.6	-22.0
2月	86.7	5.2	3.0	3,185	22.1	30.4	378	-0.3	3.8
3月	85.9	3.6	0.8	3,942	12.2	13.2	271	-3.2	-23.2
4月	88.4	5.2	2.2	2,754	17.4	25.2	312	-11.9	-19.8
5月	88.5	3.7	2.0	2,350	26.2	27.2	278	3.5	-25.9
6月	88.5	4.3	1.0	2,973	23.4	20.8	225	-4.8	-34.6
7月	93.4	5.9	2.7	2,866	11.7	12.7	390	-6.7	8.9
8月	96.1	6.5	2.6	2,410	20.2	20.4	415	-9.4	-4.8
9月	87.2	4.8	2.6	3,133	11.9	8.1	346	-6.8	-34.8
10月	88.5	4.0	-1.0	2,941	13.0	11.1	446	-6.3	19.9
11月	92.3	4.4	0.2	3,051	11.2	6.0	325	-8.5	-3.8
12月	106.2	2.6	-1.5	2,589	6.6	-4.0	218	-4.0	-50.9
2024年1月	104.1	3.3	-0.2	2,510	-10.9	-16.3	269	-7.5	-24.0
2月	86.7	7.6	0.0	2,566	-17.2	-19.4	205	-8.2	-45.8

(2024年4月1日に取得可能な資料より作成)

(2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2015年=100) *全国は2020年=100								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2018年	114.6	109.2	109.5	117.9	101.2	98.1	106.1	134.7	1,487.6	15.1	
2019年	111.6	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6	
2020年	100.0	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5	
2021年	105.4	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2	
2022年	105.3	97.2	83.9	98.2	95.8	110.6	104.6	142.8	1,584.1	-12.3	
2023年1月	101.1	94.7	77.6	102.6	99.8	93.7	93.9	129.6	65.1	-9.6	40.4
2月	104.5	88.2	72.7	104.1	75.7	82.6	102.5	144.3	65.8	-16.8	40.5
3月	104.9	89.2	76.7	86.8	103.3	84.4	105.2	124.2	285.3	57.1	40.3
4月	105.2	95.1	78.6	93.4	96.6	100.3	106.0	135.3	205.7	8.7	40.5
5月	104.1	96.5	83.5	95.8	100.2	98.7	100.2	155.2	162.9	-17.7	42.2
6月	105.0	89.1	81.5	89.7	99.6	99.4	118.4	131.5	155.3	-10.1	44.4
7月	103.5	90.4	87.4	81.8	101.4	102.7	103.3	112.4	150.4	3.5	44.8
8月	103.1	90.8	76.3	90.6	88.5	91.8	115.1	134.2	101.6	-42.5	42.5
9月	103.2	90.2	85.1	86.2	85.2	110.2	108.4	167.0	176.8	6.5	43.1
10月	104.4	91.3	78.5	96.2	90.7	123.1	96.9	151.7	106.5	5.9	42.4
11月	103.8	87.7	76.7	100.0	79.9	20.1	102.3	150.8	92.3	57.7	45.2
12月	105.0	76.2	67.1	78.6	73.2	30.3	96.0	148.5	143.9	225.0	43.3
2024年1月	98.0	76.4	75.3	82.0	81.9	21.0	83.1	157.5	107.7	65.4	41.1
2月	97.9							71.5	8.8		41.1

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2024年4月1日に取得可能な資料より作成)

(3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2018年	1.61	1.34	17,355	12,970	19.6	18.1
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,977	14,777	14.8	16.8
2023年1月	1.35	1.16	16,313	14,033	11.1	12.2
2月	1.34	1.18	16,410	13,920	15.3	18.8
3月	1.32	1.16	16,483	14,234	18.5	21.5
4月	1.32	1.15	16,594	14,383	15.4	21.0
5月	1.32	1.15	16,387	14,235	16.5	20.2
6月	1.31	1.13	16,159	14,279	14.0	17.8
7月	1.30	1.12	16,145	14,444	14.1	15.4
8月	1.30	1.13	16,289	14,448	13.3	14.5
9月	1.29	1.12	16,315	14,597	15.4	17.0
10月	1.29	1.10	16,194	14,675	14.8	16.2
11月	1.27	1.10	16,123	14,712	14.9	50.9
12月	1.27	1.10	16,330	14,813	13.0	15.4
2024年1月	1.27	1.14	16,600	14,609	10.8	11.8
2月	1.26	1.18	17,285	14,689	14.1	18.3

(2024年4月1日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。